

## ISA 国際資格試験 CTW 受験を希望されるみなさまへ

### ISA 国際資格の意義と基本的な背景について

樹木にかかわる仕事のプロフェッショナルのみなさまには、作業における品質の向上および安全の確保のため日々努力をされていることと思います。高性能の繊維ロープを駆使した樹上での移動技術と安全作業姿勢の確保、そして樹木の生態に関する世界最新の知見や理論に基づく専門知識、および これらをわかりやすく伝える能力、これらをあわせ持つツリーケアを目的とした世界最高品質の木仕事の専門家がアーボリスト Arborist®、またアーボリカルチャー Arboriculture® の世界です。世界一流のアーボリスト®たちは相互に情報交流し、自らの仕事の品質を進化させる努力を怠りません。単に重い枝を吊り下ろすだけの特殊伐採などと称する部分技術ではありません。ISA の崇高な理想に基づく世界最高品質の知見と技術者の証し、その登竜門となる

正規の Tree Worker / Climber Specialist® ツリーワーカー: クライマースペシャリスト® 国際資格取得を目指してください。この国際資格の取得にはじまり資格と技能を維持向上させ最新の知見に更新している者こそ、本物の有資格者です。また単に試験に合格したというだけでなく日々の仕事の技術品質や使用する道具類についても一定以上の国際品質であることが必要です。危険作業や適格とは言えない道具を使っているようでは、アーボリスト®やツリークライマー®の称号や世界的な信頼にも傷をつけてしまうことになります。世界の 150 カ国以上にわたり数多くの樹木関連団体を傘下に持ち、国際資格を公認しているのが ISA (International Society of Arboriculture®) です。また日本アーボリスト協会 (Japan Arborist Association) は 日本国内で唯一正式に ISA により認められた団体です。すでに陳腐化した古い知見や過去の技術、安全ではない仕様、見よう見まねでの模倣作業とは異なる世界品質の証として、これらの資格称号には®レジスターマーク(商標)を付す約束となっています。さらに日本国内で正統な人材の育成については「アーボリストトレーニング研究所(ATI)」が ISA の指導に添ってセミナー指導をしています。これらの ATI 公認トレーナーが行うセミナー等は、ISA および JAA が推奨する国内唯一のトレーニングコースとなっています。

以下 受験希望者向けの Q&A を記載いたします。

### Q & A

#### **Q : Certified TW/CS ツリーワーカー:クライマースペシャリスト資格の受験者の条件はありますか。**

受験申請者の条件としては①業務プロフェッショナルとしての就労実績 ②少なくとも 18 ヶ月以上のツリークライミングの実践経験 ③TARS 1 レスキューセミナー受講修了 ④救命救急および心肺蘇生法のセミナーの修了です。この他にも社会的な信用を担保する事項についていくつかの確認があります。受験料については個人(本人)のクレジットカードまたは勤務先の法人クレジットカードで支払うことが条件となっています。(スキル試験運営費 別途)国内受験の場合 事前に ISA および JAA への会員登録をしてください。国内での受験申請は、国内一括受付での申請となっております。申請書は日本語と英語を併記して作成し、PDF ファイルにてメール添付で提出をください。(下記参照)

#### **Q : CTW 試験は どのように行われますか。**

ISA の公式 HP に Application 申請書フォームとともに細目の説明があります。英文・日本語ともにこれらを熟読しておくことが肝要です。この資格試験は世界中のどこでも英語受験することができます。日本国内では JAA が ISA の正規提携団体として連携し、日本で行われる実技試験を執り行っています。この資格試験は、筆記(Knowledge)試

験と実技(Skill)試験の両方があります。双方に合格してはじめて ISA Certified Tree Worker Climber Specialist 国際資格認定となります。筆記試験は実技試験と同時に申込みをしますが、指定された最寄りのコンピューターセンターで受験生が希望する日に日本語で受験することができます。オンライン筆記試験の会場は国内に数か所あります。コンピューター筆記試験では受験料以外に試験の度に別途のオンライン手数料が加算となります。国内で実施される実技試験では別途スキル試験運営費(JAA 手数料・当日現金支払)が必要となります。

**Q: CTW 試験の受験申請は どのようにしますか。**

JAA または ISA の公式 HP から CTW の日本語 Application and Handbook をダウンロードし、後段にある申請書に日本語と英文を併記し作成してください。事前に ISA および JAA のメンバー登録をお願いいたします。JAA の HP 内に受験者サポートのページがありますので参照をしてください。国内受験申請の窓口となる当該試験担当のリードエバユエーター宛 PDF ファイルとしてメール添付で申請をしてください。日本国内での受験申請手続きは先着順にて受付、定員になり次第受付終了となります。申し込み開始日以降は、早めの申請手続きをしてください。申し込み期限直前の申請では書類不備等で受理されないことがありますのでご注意ください。

**Q: その他の CTW 受験者 適格条件は何ですか。**

試験前日の深酒・違法ドラッグ類の服用、金銭トラブル、裁判の係争、傷害保険の未加入、遅刻等がありますと当日の受験はできません。必要な ID 書類、使用する適格なギア類を確実に整備の上 持参、集合してください。

**Q: 筆記(Knowledge)試験はどのように行われますか。**

国内での CTW 筆記(Knowledge)試験は、すべてコンピューターセンターでの個別受験のスタイルとなります。最寄りのコンピューターセンター試験会場を確認してください。あなたの都合の良い日程を指定して オンライン筆記試験に臨みます。日本語試験のみ選択ができます。実技試験日以降に筆記試験希望日をオンラインで自己登録申請してください。筆記試験の可否はその場でわかります。仮に不合格の場合にはリテイク(再受験)の申請用紙の封書到着を待ってから、125 ドルの手数料を支払うと筆記試験再受験ができます。コンピューター筆記試験の案内は申請受付後に ISA からメールでの通知があります。試験会場には、ID としてクレジットカードおよび運転免許証を必ず持参してください。

**Q: 実技(Skill)試験はどのように行われますか。**

国内での CTW 実技(Skill)試験は、ISA の委託を受けて JAA 内の ISA エバユエーターチーム有資格者の試験監督と採点により厳正に行われます。可否の判定はすべて米国 ISA 本部内の審査で行われ、結果は封書で個々に通知・発表されます。JAA では今のところ、年に 2~3 回程度 実技試験の会場設定を予定しています。毎回受験者数の定員がありますので試験設定最新情報にご注意ください。

**Q: 筆記(Knowledge)試験 試験対策として何を勉強すればよいですか。**

TW 筆記(Knowledge)試験対策のテキストとしては、ISA 教本の中で「Tree Climber's Guide」を熟読してください。その他 DVD 教材としての「Tree Worker Safety」も PC 学習がしやすい教材です。

**Q:実技(Skill)試験時に必要なギア(道具)、使用可能なギアはどのようなものですか。**

必要なギア類は Application の説明文を熟読の上 揃えます。個々のギアすべてについて そのメーカーや品質ワーキングロード(WLL)等について現場で試験官に正確に説明ができること、ギア毎にメーカーの品質表示記載があり確認できること、傷や摩耗、汚れが少ないことが求められます。必要なギアで足りないものや適格でないものがあると試験では先に進めなくなりますので慎重に確実に揃えて持参します。ギアの特性について十分説明できるようにメモ書きを持参しても構いません。

**Q:実技(Skill)試験における 「Knot Check 」とは どのような試験ですか。**

課題となる 6 種類の基本的な「結び」について時間内で実技を行います。結びが正しくドレスアップまでできるようよく訓練して試験に臨んでください。なお、実技試験の毎に課題の内容が変わることがありますので、実技試験受験者登録の後、よく内容を確認しておきましょう。ハンドブックの本文を参照してください。

**Q:合格後の資格の維持 継続はどのようなようですか。**

実技(Skill)試験と筆記(Knowledge)試験の双方に合格し資格認定されると、CTW 称号を名乗ることや自らの事業の配布物等にも資格 ID 番号とともに資格明記することが認められます。認定証が交付され、資格認定ワッペンを貼ることも許可されます。資格取得後 3 年以内に継続教育としての CEU ポイント(認定通信教育やセミナー参加等でポイント取得可)を 15 ポイント以上獲得し、更新手数料を支払うことで資格更新(3 年間)が可能となります。TARS1 レスキューセミナーも最低でも 3 年に一度の更新受講が必要となります。現場経験と ATI 等での研鑽を積み、さらに上級の Arborist®国際資格取得を目指すこともできます。

( その他 ご不明の際は、実技試験担当のリードエバユエーター、日本リエゾン、ISA 本部(米国)へ お問い合わせください。)